

様式第4のチ（第4条、第5条関係）

屋外貯蔵所構造設備明細書

① 事業の概要	化学薬品製造業（原料の貯蔵）
② 区画内面積	40㎡（5m×8m）
③ さく等の構造	周囲に鋼製の杭を設け、金属製の鎖を取り付け柵とする。
④ 地盤面の状況	地盤面より10cm高いコンクリート舗装とし、側溝（10cm×10cm）及び油分離装置を設ける。
⑤ 架台の構造	スチール製 （縦：800mm、横：2,400mm、高さ：1,800mm、2段）2台
⑥ 消火設備	第5種 粉末ABC消火器 10型×2
⑦ 工事請負者 住所氏名	千葉県富津市下飯野 2509 番地 1 危険物保安株式会社 責任者 富津 危太郎 電話 0439-88-6405

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

## ■屋外貯蔵所 構造設備明細書記入要領■

### 《共通事項》

- ・該当しない欄は斜線等を記入し、該当しないことを明確にすること。
- ・所定の欄に記入できない場合は〔別紙〇参照〕と記入し、別紙に当該内容を記入すること。

#### ①「事業の概要」

屋外貯蔵所が設置されている事業所の主たる事業概要を記入し、貯蔵目的を括弧書きで記入する。

#### ②「区画内面積」

屋外貯蔵所の面積（さく等による区画内の面積）を記入し、寸法（縦〔奥行〕、横〔幅〕）を括弧書きで記入する。

#### ③「さく等の構造」

さく等の材質及び構造の概要を記入する。

#### ④「地盤面の状況」

地盤面の施工方法、周囲に設ける設備等を記入する。

#### ⑤「架台の構造」

屋外貯蔵所内に設置した架台の材質、寸法（縦〔奥行〕、横〔幅〕、高さ）、段数及び設置数を記入する。

#### ⑥「消火設備」

危険物の規制に関する政令別表第5の規定による消火設備の区分（第1種～第5種）、設備名等及び設置数を記入する。

### 《参考》

区分	設備名
第1種消火設備	屋内消火栓 屋外消火栓
第2種消火設備	スプリンクラー設備
第3種消火設備	水蒸気消火設備 水噴霧消火設備 泡消火設備 不活性ガス消火設備 ハロゲン化物消火設備 粉末消火設備
第4種消火設備	大型消火器
第5種消火設備	小型消火器・乾燥砂・膨張ひる石・ 膨張真珠岩・水バケツ・水槽

#### ⑦「工事請負者住所氏名」

工事請負者の住所、氏名（法人の場合は、主たる事業所の所在地、法人名及び当該工事の責任者名）及び電話番号を記入する。